

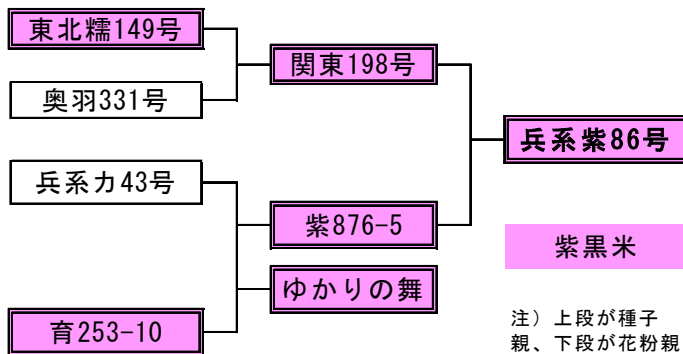
# 紫黒米新品種「兵系紫86号」の育成

## 【背景・目的・成果】

紫黒米「ゆかりの舞」は、いもち病抵抗性が弱いため、いもち病に強い品種の育成を目指しました。また、紫黒米の最大の特徴である玄米表面のアントシアニン色素含量が多いものを選抜しました。さらに一般の水稲との識別性を高めるため、葉などの一部を紫色に着色しました。

## 【来歴・品種特性】

- ・交配: 2001年 紫876-5 × 関東198号 ※紫876-5: ゆかりの舞の兄弟系統 関東198号: 紫黒米系統(作物研究所)
- ・品種登録出願: 2016年3月



上から、兵系紫86号、ゆかりの舞、ヒノヒカリ

図「兵系紫86号」の系譜

- ◆「ゆかりの舞」と同熟の早生種(出穂期8月26日 成熟期10月8日)
- ◆短稈で耐倒伏性強い: 稈長約70cm 穂数少ない(偏穂重型)
- ◆芒及びふ先色、葉耳、葉身(かすり状): 紫色に着色
- ◆いもち病抵抗性: 「ゆかりの舞」(弱)より強い「中」
- ◆粒大・品質: 千粒重27g台、玄米の黒紫色は「ゆかりの舞」より濃い
- ◆アントシアニン色素量: 「ゆかりの舞」の1.5~2.0倍とかなり多い



## 抽出色素の濃淡(色度)

左3つ: ゆかりの舞、右: 兵系紫86号  
(ヤエガキフード&システム社の調査による)



紫黒米を使った健康酢などの加工食品

## 【技術の活用】

紫黒米「ゆかりの舞」の後継品種として、たつの市を中心に県下で作付され、健康酢や日本酒などの着色原料としての利用が期待されています。